

作業療法学科 [4年制]

AP

入学者の受け入れ方針

アドミッションポリシー

作業療法学科では、卒業認定・専門士授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)に定める教育を受けるために必要な、知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を各種入学試験を通じて受け入れる

- 1 穴吹学園の教育理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある人
- 2 作業療法を習得するために、高等学校での教育内容を幅広く学修している人
- 3 自分の考えを相手にわかりやすく伝えるためのコミュニケーション力と表現力を有している人
- 4 保健・医療・福祉分野で作業療法士として、人々の生活行為に関心を持っている人

CP

教育課程編成・実施の方針

カリキュラムポリシー

作業療法学科では、DPに掲げる能力を身につけるための教育課程として、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習を適切に組み合わせた授業を行う

- 1 1年次は、基礎分野科目と専門基礎分野科目(基礎医学)を学び、基礎的知識と技能を身につける。基礎作業療法学を学び、作業療法に対する理解を深めていく。
- 2 2年次は、専門基礎分野科目(臨床医学)を学び、専門知識と技能を身につける。作業療法専門科目に関する段階的な講義、演習、実習を通して、さらに知識と技能を深めていく。
- 3 3年次は、段階的な講義、演習、実習を通して、さらなる専門知識と技能を身につける。専門的知識と技能を深化させるとともに、多様な分野への視野を広げ、探究心を身につける。
- 4 4年次は、医療福祉機関での臨床実習を通して、これまでに習得した知識と技能を実践的に活用する。地域社会に貢献できる専門職として、探究心を実際の行動や成果として形にする力を養う。

DP

目指す人材像
ディプロマポリシー

作業療法学科では、履修規程に即して必要単位を修得し、必要な修業年限を満たしたうえで下記の能力を備えていると判断した場合に、卒業認定および専門士の称号を授与する

- 1 地域社会および国際社会に貢献できる作業療法士としての知識と技能を身につけている。
- 2 対象者との信頼関係を築き、支援チームの一員として協働できるコミュニケーション能力を身につけている。
- 3 対象者が抱える問題を正確に理解し、知識と創造性を駆使して問題解決する力を身につけている。
- 4 最新の知見を得るために学び続け、対象者の生活行為の向上に貢献する。

目指す資格

- 作業療法士 [国家資格]
- 福祉住環境コーディネーター2・3級
- 初級バラスポーツ指導員 (予定)
- 児童発達支援士

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>	<前期>	<後期>
到達目標	基礎分野科目と基礎医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける。	基礎分野科目と基礎医学および臨床医学の専門基礎分野科目を学び、基礎的知識、技能を身につける。	身体障害や精神障害など各専門分野における専門知識と技能を身につける。	各専門分野における専門知識と技能を身につけ、課題分析力を培う。	各専門分野における専門知識と技能を身につけ、地域作業療法に関する知識を身につける。	専門的知識と技能をスキルアップすることで、視野を広げ探究心を身につける。	医療福祉機関における臨床実習を通じて、これまでに習得した知識と技術の実践的活用方法を身につける。	地域社会に貢献できる専門職として、探究心を実際の行動や成果として形にする力を養う。
カリキュラム	講義 コミュニケーション論演習 講義 社会学 演習 情報科学 講義 解剖運動学概論 講義 上肢解剖運動学 講義 心理学 講義 人間発達学	講義 健康学 講義 下肢体幹解剖運動学 演習 解剖運動学演習 講義 臨床心理学 講義 精神医学 講義 脳機能解剖学 講義 生理学II 講義 病理学 講義 一般臨床医学 講義 生活支援学 講義 作業科学 実習 作業治療学実習I 講義 作業療法評価学概論 実習 見学実習	講義 精神障害作業療法概論 講義 整形外科学I 講義 義肢学 講義 神経病I 演習 生理学演習 講義 内科学 講義 リハビリテーション栄養学・薬理学 演習 生活支援学演習 実習 作業治療学実習II 講義 神経筋作業療法評価学 講義 運動器作業療法評価学 講義 地域共生学II	実習 解剖学実習 講義 精神障害作業療法I 講義 発達障害作業療法I 講義 整形外科学II 講義 運動器疾患作業療法I 講義 神経病II 講義 中枢神経疾患作業療法I 講義 内部障害作業療法 講義 老年学 講義 動作分析学 実習 作業治療学実習III 演習 作業療法評価応用学 実習 評価実習I	講義 外国語 講義 精神障害作業療法II 講義 発達障害作業療法II 講義 運動器疾患作業療法II 講義 中枢神経疾患作業療法II 講義 作業療法理論 演習 画像評価学 講義 地域作業療法 講義 住環境調整学 講義 福祉用具学 講義 統計学 演習 スキルアップ専攻学I	講義 キャリア形成学 講義 就労支援学 実習 装具学実習 演習 生活行為向上マネジメント演習 講義 作業療法管理学 演習 ペーパーペーシェント 講義 保健医療福祉連携論 講義 作業療法研究論I 実習 スキルアップ専攻学II 実習 評価実習II	医療福祉機関における臨床実習を通じて、これまでに習得した知識と技術の実践的活用方法を身につける。 地域社会に貢献できる専門職として、探究心を実際の行動や成果として形にする力を養う。	
スケジュール	4月 ●入学前学習 ●入学式 ●新入生オリエンテーション 5月 6月 7月 ●国際交流会 ●穴吹祭 8月 ●夏休み 9月 ●スポーツ大会	10月 11月 12月 ●学生親睦会 ●冬休み 1月 2月 ●見学実習 3月 ●医療系海外研修(※希望者) ●春休み	4月 5月 6月 7月 ●国際交流会 ●穴吹祭 8月 ●夏休み 9月 ●スポーツ大会	10月 11月 ●評価実習I 12月 ●学生親睦会 ●冬休み 1月 2月 ●就職講演会 3月 ●医療系海外研修(※希望者) ●春休み	4月 ●就職ガイダンス 5月 ●総合臨床実習I 6月 7月 ●穴吹祭 8月 9月 ●総合臨床実習II ●スポーツ大会	10月 11月 ●評価実習II 12月 ●学生親睦会 ●冬休み 1月 2月 3月 ●医療系海外研修(※希望者) ●春休み	4月 ●就職ガイダンス 5月 ●総合臨床実習I 6月 7月 ●穴吹祭 8月 ●総合臨床実習II 9月 ●スポーツ大会	10月 11月 ●国家試験対策 12月 ●学生親睦会 ●冬休み 1月 2月 ●作業療法士国家試験 3月 ●医療系海外研修(※希望者) ●卒業式

主な科目内容	
心理学	こころのしくみと行動を科学的な方法で探求し、作業療法を展開するために学ぶ。
社会学	社会は個々人の集まりであり、それ自体として政治・経済・法や道徳・教育・家族・宗教などさまざまなシステムをもち、相互依存しながら存在している。それらの仕組みを理解する。
健康学	健康の維持・増進のために知っておくべき知識をさまざまな視点で学ぶとともに、地域の方々に健康増進に向けた体操や脳トレを行う。
上肢解剖運動学	人体の構造と骨の動きや関節の基本構造・筋・神経・血管など総論を学び、上肢と手指の運動についての理解を深める。
生理学I・II	神経(中枢、末梢)・筋・感覚・循環(血液と心臓)・呼吸・代謝・内分泌などの生理を学び、相関性を理解する。
人間発達学	胎児期から高齢期までの発達過程を学び、脳の発達、認知発達、社会性発達など、多角的な視点から人間の発達を学ぶ。
臨床心理学	児童心理学や心の健康に関する問題を抱える人々に対して、心理的な支援や治療法を学ぶ。
神経病学I・II	脳卒中、パーキンソン病など、神経系の病気の原因やメカニズム、症状について学ぶ。これらの知識を基に、作業療法介入の根拠を理解する。
精神医学	精神医学の基礎について学び、作業療法業務に役立てる。
作業療法概論	作業について、作業療法の領域、倫理、多職種連携、作業療法の目的について調べる。
作業療法理論	作業療法の歴史、人間作業モデルやカナダモデル、作業療法介入プロセスモデルなど、作業療法理論について学ぶ。
作業療法管理学	作業療法業務に必要な物品管理・診療報酬・関連法規および教育法・作業療法の倫理について学ぶ。
作業療法実習I・II・III	臨床で用いられる幅広い作業の種目別技法を身につけるとともに、その作業を治療的に応用する視点を学ぶ。
作業療法評価応用学	評価の選択から評価計画、統合と解釈について評価のながれを理解する。
中枢神経疾患作業療法学I・II	脳卒中やパーキンソン病など、中枢神経に障害を受けた方の障害特性を理解し、生活行為の改善を支援するための知識、技術を学ぶ。
発達障害作業療法学I・II	脳性麻痺、自閉スペクトラム症など発達障害児の特性を理解し、子どもたちの生活能力向上を支援するための知識、技術を学ぶ。
精神障害作業療法学I・II	統合失調症をはじめ、気分障害・パーソナリティ障害・神経症障害などの精神障害の作業療法について障害特性・評価・アプローチ方法を学ぶ。
高齢期作業療法学	高齢期における作業療法実践、認知症、終末期について学ぶ。また、地域の高齢者との交流を通して、高齢者の生活や能力について理解を深める。
生活支援学	基本動作や生活行為の考え方を学び、各生活行為の特徴を観察・分析を行う。
スキルアップ専攻学I・II	こどものリハビリに必要な知識や技術をスキルアップできるように学ぶ。児童発達支援士などの資格取得にむけた援助を行う。
キャリア形成学	キャリアについて学び、作業療法士としてのキャリア形成について先輩の話聞き、自身のキャリアビジョンを描いていく。
住環境整備論	バリアフリーやユニバーサルデザインおよび住宅改修について学び、福祉住環境コーディネーターの資格取得に向けて援助する。
福祉用具学	福祉用具全般(種類や活用法、適応やリスク管理など)について学び、自助具を製作する。
地域共生学I・II	地域の歴史や資源、活動など概要や地域コミュニティについて学び、地域の方と交流を通して、地域における作業療法士の活躍について学んでいく。
バラスポーツ学	作業療法とバラスポーツの関連性を学び、障がいのある方がスポーツを楽しむための理論と実践を学ぶ。障がい特性に応じた指導法などを習得し、バラスポーツの普及に貢献できる人材を育成する。
作業療法研究論I・II	学んできたことから研究疑問を持ち、研究計画をたてて研究を実施し、発表を行う。